

読書

売れてる本

■宇宙は何でできているのか

素粒子物理学で解く宇宙の謎

村山 斉(著)

宇宙の全体像を閉じこめて



ビッグバンにより宇宙が誕生した瞬間は、高熱によりあらゆる粒子がバラバラに飛び交っていたという。それら極小の素粒子の正体を知ることが、極大な宇宙の謎を解明する鍵となる。その研究の大

まかな筋道が学べる入門的一冊。難しい数式は一切なし。「宇宙の7割以上は得体的にしない暗黒エネルギーでできている」など、豆知識として披露できそうな話題が多数。著者は文科省がトップレベルの研究拠点として発足させた東京大学数物連携宇宙研究機構(TPMU)の初代機構長。一般にも通じる素粒子の解説者として積極的に講演活動も行う。本書も冗談や具体的エピソードを盛り込んだ楽しい読み物となっている。担当編集者の小木田順子さん

は、物理学に詳しいわけではなかったという。きっかけは昨年4月の朝日新聞に掲載された著者の記事。「私にも分かるように説明をされていたので、ぜひ一般向けの素粒子入門書をお願いしたい」と思いました。講座に参加し、内容の大半が宇宙についてであることに驚いた。素粒子研究と宇宙研究は切り離せないものを知り、一般読者に興味を持ってもらえよう。このタイトルを考案した。

心をついたのは分かりやすさという。「細かく難しい説明はでき

落としました。それよりも宇宙の全体像を一冊に閉じ込めたかった」というように、反物質やひも理論など聞き覚えのある言葉が研究上の脈絡で出てくるのが把握でき、頭の中が整理される。同時に、カミオカンデが捕らえたニュートリノや、はやぶさが持ち帰った微粒子の話題を思い出し、その小さな粒に大きな秘密が詰まっているのだ、と心ときめいた。

瀧井 朝世

(ライター)

週間ベスト10

- ① 帝国ホテルの不思議—村松友視著、日本経済新聞出版社
- ② 稼働率89% リピート率70% 顧客がキャンセル待ちするホテルで行われていること—峰如之介著、ダイヤモンド社
- ③ 本当に儲ける社長のお金の見方—小山昇著、中経出版
- ④ 国家の命運—数中三十二著、新潮新書
- ⑤ 奇跡を呼び込む、人—趙佑鎮・梁炳武編著、悠雲舎
- ⑥ 知的余生の方法—渡部昇一著、新潮新書
- ⑦ もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら—岩崎夏海著、ダイヤモンド社
- ⑧ 宇宙は何でできているのか—村山斉著、幻冬舎新書
- ⑨ ザ・ペロシティ=ディー・ジェイコブほか著、三本木亮訳、ダイヤモンド社
- ⑩ ミシュランガイド東京・横浜・鎌倉 2011—日本ミシュランタイヤ

(11月21~27日、八重洲ブックセンター本店調べ、総合部門)